

JAかみはやし自己改革工程表(平成29年度~31年度)

3年後の成果目標

- ①重点農家の総合支援 20件 ②JA販売事業取扱高 15億円 ③コシヒカリ以外の品種作付割合 40% ④ねぎ作付面積 13ha

成果目標実現に向けた重点施策と3年後の目指す姿		年次別工程(実施具体策・到達目標)				責任部署	
		現状	1年目	2年目	3年目		
多様な担い手の支援	担い手経営体に対するJAの個別対応を強化し経営を支援する 評価指標:重点農家の総合支援	OTAC1名が提案活動を実施	OTAC後継者育成 ○個別対応による支援活動強化			→ 営農部	
	担い手経営体に対するJAの個別対応を強化し経営を支援する 評価指標:訪問件数	○営農指導員による指導活動	○農業者サポート活動(TAG担当外の農業者相談)	目標:5件	目標:10件	目標:20件	→ 営農部
	若手農業者の技術向上と新たな担い手を育成する 評価指標:研修会参加人数	○生産者の高齢化、世代交代	○作業時期に合わせた通年の研修会を開催	目標:50件/月	目標:50件/月	目標:50件/月	→ 営農部

成果目標実現に向けた重点施策と3年後の目指す姿		年次別工程(実施具体策・到達目標)				責任部署	
		現状	1年目	2年目	3年目		
需要に応じた農産物の計画的生産	コシヒカリ以外の米生産にも積極的に取り組み、安定的・持続的に発展できる地域農業の生産構造を実現するとともに、JA販売事業取扱高15億円を目指す 評価指標:生産数量目標達成度	○管内の農業生産額減少に伴い、販売高は10年前の75%まで落ち込んでいる	○需要量に応じた米生産の呼びかけ			→ 営農部	
	コシヒカリ以外の米生産にも積極的に取り組み、安定的・持続的に発展できる地域農業の生産構造を実現するとともに、JA販売事業取扱高15億円を目指す 評価指標:コシヒカリ以外の品種作付割合	○稲作所得を増やすには飼料用米など生食用以外の米生産にも取組み、安定収量を確保する必要がある	○需要に応じた多様な品種構成の作付	目標:100%	目標:100%	目標:100%	→ 営農部
	コシヒカリ以外の米生産にも積極的に取り組み、安定的・持続的に発展できる地域農業の生産構造を実現するとともに、JA販売事業取扱高15億円を目指す 評価指標:新規取引	○米・園芸品目の独自販売ルートの開拓		目標:30%	目標:35%	目標:40%	→ 営農部

成果目標実現に向けた重点施策と3年後の目指す姿		年次別工程(実施具体策・到達目標)				責任部署
		現状	1年目	2年目	3年目	
園芸作物の所得向上に	園芸重点品目の作付拡大13haを達成する。 評価指標:作付面積	○生産者の高齢化により作付面積が減少傾向にある	○園芸導入研修者への呼びかけ ○農業機械の貸出、機械作業の支援			→ 営農部
	ねぎ以外の園芸作物作付者数を増やす 評価指標:新規戸数	○若手農業者に向け稲作、園芸栽培の取組みによる所得拡大を呼びかけている	○栽培期間の短いブロッコリーや、産作作業に応じた作業体系が組めるキャベツ等の新規取組を推進する。	目標:ねぎ作付面積11ha	目標:ねぎ作付面積12ha	目標:ねぎ作付面積13ha

成果目標実現に向けた重点施策と3年後の目指す姿		年次別工程(実施具体策・到達目標)				責任部署
		現状	1年目	2年目	3年目	
職能地域の活性化	食育教育の実践により次世代に食、農、JAに対する理解を深めてもらう 評価指標:授業、見学受け入れ回数	○管内小学校の学校田の田植え、稲刈り指導を行っている	○管内小学校への出前授業の呼びかけと見学受け入れ			→ 営農部 企画総務部
	JA女性部連携し、食と地域を守る取組み(成人向け食農教育)を充実させる 評価指標:講習会開催回数		○郷土料理講習会の開催	目標:年8回以上	目標:年8回以上	目標:年8回以上